

## 南海トラフ地震に関する情報（臨時）等の発表・おける登下校について

### 登校について

#### I 気象庁が発表する「南海トラフ地震に関連する情報」への対応 <登校前>

「南海トラフ地震に関する情報」

- ・ 調査開始時
- ・ 調査が継続した場合
- ・ 発生の可能性が高まった場合

自宅で待機する。

#### II 大規模地震発生への対応 <登校前>

<大きな揺れ>  
※約1分は続く。

- ・ 机の下など、できるだけ安全な場所に避難する。
- ・ かばん、コート、座布団等を頭にのせ、落下物から身を守る。

<大きな揺れが  
収まったら…>

- ・ 各町内会の避難場所に保護者とともに避難する。その後、指定避難場所である富士中央小学校、富士中学校、富士高等学校へ、保護者とともに避難する。※被害状況等によっては自宅で待機する。

- ◆ 大規模地震では、5分程度で沿岸部に津波の第1波が到達し始め、沿岸部における津波の高さは予想を超える場合もあります。津波警報等の発令状況によっては、遠くへの避難はあきらめ、近くの堅牢な建物など、できるだけ高い所に避難しましょう。

### 下校について

#### I 気象庁が発表する「南海トラフ地震に関する情報」への対応<学校にいるとき>

「南海トラフ地震に関する情報」

- ・ 調査開始時

学校は安全確保に努める。  
状況により下校する。

「南海トラフ地震に関する情報」

- ・ 調査が継続した場合
- ・ 発生の可能性が高まった場合

保護者等への引き渡しにより、  
下校もしくは避難する。

#### II 地震発生時の対応<学校にいる時>（震度5弱以上）

学区内の家屋の倒壊等がなく、通  
学路等の安全が確認された場合

保護者等への引き渡しにより、  
下校もしくは避難する。

学区内の家屋の倒壊、火災発生、  
津波発生の危険等が認められる場合

状況により避難する。

- ◆ 保護者への引き渡しが必要な場合でも状況によっては、「子ども安全連絡網（N T Tデータ）」やまちこみメールの使用が困難となることも想定されます。主体的な情報収集と適切な状況判断をお願いします。

## 弾道ミサイル等発射に関する対応について

### 登校前

自宅待機として、保護者の指示のもと安全を確保する。

### 登下校途中

近くの建物に入れてもらうか、建物の陰に隠れ、体をかがめて頭を守る。

### 学校にいるとき

校舎内では、できるだけ窓から離れ、机の下などで体を守る。校舎外では、校舎内に避難し身を守る。